

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション概論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学期	前期	教室名	803
担 当 教 員	改發 友貴				
実務経験と その関連資格	作業療法士として、身体障害領域の病院で、急性期リハビリ、回復期リハビリ、外来リハビリを有する病院にて9年間勤務。主に、脳血管疾患や上肢骨折後の日常生活動作訓練を実施。 大阪府がんのリハビリテーション研修会終了。 資格：福祉住環境コーディネーター2級、認知症ケア指導管理士。				
《授業科目における学習内容》					
リハビリテーションの概念(定義、歴史、目的)を理解し、障害受容について説明出来るよう学びます。また、チーム医療の重要性や障害者の気持ちを感じ、作業療法士・リハビリテーション専門職としての知識・態度を学びます。現場で働く先輩作業療法士や当事者の方からの講義を通じ、作業療法の理解を深めてもらいます。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験:40% レポート(外部講師含む):60パーセント					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「セラピストのための概説リハビリテーション」文光堂					
《授業外における学習方法》					
「セラピストのための概説リハビリテーション」を読んでおきましょう。 ICFについては、国際生活機能分類-国際障害分類改定版-も参考にすると理解が深まるかと思いますので、ご活用ください。					
《履修に当たっての留意点》 日本のリハビリテーションの歴史を生きてきたセラピストからの講義、障がい体験、そして当事者・先輩セラピストからの貴重な講義があります。 直接 話がきける貴重な機会です。質問し更に理解を深めていけるよう 積極的な受講をお願いします					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの理念と目的について理解し、説明することができる。		教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:1 P2～15、P52～54
	各コマにおける授業予定	リハビリテーションの理念と目的、リハビリテーションとは			
第2回	授業を通じての到達目標	ICIDH⇒ICFについて理解し、各構成要素について説明することができる。		教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 1部:2 P16～24
	各コマにおける授業予定	ICIDHからICFへの背景を知る。各構成要素について			
第3回	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステム・地域医療の概要について理解し、説明することができる。		教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:8 P170～173
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムについて			
第4回	授業を通じての到達目標	障害受容の段階理論について説明することができる。 障がいを持たれた方の気持ちを知る。		教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:10 P185～192 P141
	各コマにおける授業予定	障害受容の段階について 障害体験①			
第5回	授業を通じての到達目標	障害体験を通じて感じる不自由さを他者と共有し、当事者の気持ちを考える。		教科書	「セラピストのための概説リハビリテーション」 3部:10
	各コマにおける授業予定	障害体験② レポート1			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	チーム医療の重要性について理解し、各職種の役割を説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説 リハビリテーション」 1部：P30～41
	各コマにおける授業予定	チーム医療に関わる職種の役割について演習を通して考える		
第 7 回	授業を通じての到達目標	チーム医療の重要性について理解し、各職種の役割を説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説 リハビリテーション」 1部：4、2部 P30～41
	各コマにおける授業予定	チーム医療に関わる職種の役割について演習を通して考える レポート2		
第 8 回	授業を通じての到達目標	医療ソーシャルワーカー・医療事務の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説 リハビリテーション」 1部：4、2部 P88～91
	各コマにおける授業予定	医療ソーシャルワーカー・医療事務の理解 レポート3		
第 9 回	授業を通じての到達目標	理学療法士の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説 リハビリテーション」 1部：3 P44～P50
	各コマにおける授業予定	理学療法士の理解 レポート4		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	言語聴覚士の業務内容について理解し、説明することができる。	教科書	「セラピストのための概説 リハビリテーション」 1部：4、2部 P60～67
	各コマにおける授業予定	言語聴覚士の理解 レポート5		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレ ポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート6		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレ ポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート7		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	臨床現場の作業療法について理解し、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレ ポート
	各コマにおける授業予定	臨床現場の作業療法士から実際の作業療法について レポート8		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて考え、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレ ポート
	各コマにおける授業予定	当事者からの授業 レポート9		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	障害を持つ当事者の気持ちについて考え、説明することができる。	教科書	講義を聴いた振り返りレ ポート
	各コマにおける授業予定	当事者からの授業 レポート10		